

令和3年度 第3回学校運営協議会 記録

第3回は、令和4年2月7日に開催予定であったが、新型コロナウイルスまん延防止等重点措置に基づく大阪府への要請を踏まえ、郵送やメール等により意見等を聴取することで、会議の開催の代替とした。

学校運営協議会委員(6名:私立大学教授、障がい者就業・生活支援センター センター長、吹田市立中学校校長、私立保育園園長、株式会社 総務部、本校 PTA 副会長)に資料を送付し、それらに対するご意見等を、「提言シート」にて回答いただいた。

以下、その意見を列挙する。

1. 「令和3年度 学校経営計画、評価について」(配付資料②)

※「令和3年度 学校経営計画、評価について」のポイント

- ・資料②—1 学校教育自己診断の結果と分析の内容
- ・資料②—2 自己評価の内容
→ほぼ全ての項目で評価基準を満たすことができた。ただし、コロナ禍で活動の制限があり、達成できなかった項目がいくつかあった。

※「令和3年度 学校経営計画、評価について」に対するご意見

・コロナ禍で制限を余儀なくされる中、校長のリーダーシップの下ほぼ計画通りの安定した学校運営を成されたと思います。その中で課題にあげられている小学部段階のキャリア教育については、継続した指導と試行錯誤を繰り返しながらよりベターな取り組みを積み上げていくことで成果につながるものと思います。また、コロナ禍でのPTAや地域との連携した防災の取り組みについての評価(△)は、まだまだwithコロナに課題を残す現況では仕方がないことと思います。ICT機器の活用による働き方改革については、社会全般からすると学校現場は遅れていたと感じます。コロナ禍によりWEB会議等も当たり前になり多方面で時間短縮や効率化が成されてきたと思います。ただ年齢層によってはICT機器活用に苦手意識をもたれていることは拭えないことであり、教職員全体を考慮するとアナログ的手法も取り入れたハイブリット的手法を構築されることが望ましいと思います。(委員A)

・回収率が昨年度から低下している点は気になりましたが、理由が明確なので引き続きフォームへの入力方法などを周知していただければと思います。コロナ禍で活動の制限があることは仕方ないと思いますし、既に取り組みされているかと思いますが例えばオンラインで面談、施設見学や会社見学を実施するなども検討されては?と思いました。(委員B)

・項目の達成度が高いのは有難いことです。コロナ禍での運営の制限は今後当たり前になるように思っています。コロナ以前の様な状況を求めるのではなく、新たな教育の進め方、仕組みの模索がポイント(オンライン、機器の活用等)だと私は思っています。※対面の顔見では大切ですが、以外でも効果が期待できる教育現場と家庭環境が求められると思っています。(委員E)

・児童生徒は、先生から頑張りをほめてもらえるのはとても嬉しく、学習意欲を向上させ、自己肯定感を高めることにつながる。教職員が保護者に子どもの様子を連絡帳で発信することや宿泊学習の様子を学校HPに随時アップすることで安心感を与え、学校と保護者の連携が取れるので、今後も活用して頂きたい。(委員F)

2. 「令和4年度 学校経営計画について」(配付資料③)

※「令和4年度 学校経営計画について」のポイント

・資料③—1 中期的目標追加事項

・資料③—2 具体的な取り組みの内容

→令和4年度の取組みの中でも、特に小学部50分授業、ICT機器を活用した授業、PTA活動の活性化と連携、校務の効率化と働き方改革の推進に重点を置く。

※「令和4年度 学校経営計画について」に対するご意見

・小学部の50分授業については、児童の実態把握に努められ、個々の児童に応じた指導内容・方法の充実につながることを求められてくると思います。授業時間が長くなることで児童の方が対応できるのかなどの不安要素も拭えないように感じますが、自立活動の指導内容等を取り入れながら授業の質向上につながれば大きな成果につながるのではと期待します。また、吹田支援学校はGIGAスクール構想を受ける以前からより先進的なICT機器を活用した授業実践が行われていたと感じております。今後も知的障がい支援学校における革新的な授業実践を楽しみにしています。校務の効率化と働き方改革の推進については、「風通しのよい職場づくり」を校長のリーダーシップの下、より発展的なものに確立されることを期待しております。(委員A)

・研究事業を録画、アーカイブ資料として事業実践の共有化されることは良い取り組みだと思います。吹田支援学校としての取り組みが蓄積され、より良いものになることを期待しております。風通しのよい職場づくりは良く聞くワードですが、年齢層や職域等によって考える風通しのよい職場は違うかと思います。若年者～ベテランの先生からぜひ意見をきいてください。(委員B)

・ICT機器を使用することで、職員のスキルアップや働き方改革につながるができるようになればいいと思います(委員D)

・問題なく賛成です。「たのしく」→ICTを多様される教育の進め方は、先生方の負担軽減にもつながると思います。生徒さんも機器に触れる場面をもたせ、可能性の拡大を目指してください。「ゆたかに」→(2)のキャリア教育実践の強化も、先生の負担は増えると思いますが、しっかりと対応して頂ければと思います。(委員E)

・小学部50分授業の開始は自立活動の指導内容の充実、学部間の連携授業、早期キャリア教育の内容充実させるために実施することが望ましい。授業でICT機器を活用することで、映像等での視覚支援、音声による耳からの刺激で学習意欲が向上しやすく、集中できることに期待できる。R4年度PTA活動の活性化に期待しています。(委員F)

※※※ 「令和4年度 学校経営計画について」は、全ての委員の了承を得ました。※※※

3. 「令和3年度 進路状況について」(配付資料④)

※「令和3年度進路状況について」のポイント

・就労実績について

→高齢者介護施設を希望した生徒は、感染症の影響で体験実習の設定が困難であったが、本人の頑張りや誠実さが伝わって内定をもらえた。

中学校時代に不登校だった生徒が、本校入学後に登校が安定して就職をめざすところまで成長できた。しっかりと実習に取り組み、面接練習で毎日居残りをして内定をもらえた。

・進路状況について

→希望する福祉サービスの種別の構成は、例年と大きく変わることはなかった。多くの生徒が生活介護と自立訓練を希望し、実現した。

※「令和3年度 進路状況について」に対するご意見

・コロナ禍の中にも拘わらず、企業就労から大学進学まで個々の状況(本人・保護者の希望等)に応じた進路指導がなされていると思います。(委員 A)

・先生となにより生徒さんの頑張りや就労へ繋がったと認識しております。子どもたちが持つ可能性を信じ、成長に繋がり、就労という結果はとても素敵だと思います。また既に取り組んでおられると思いますが、その中で就労する上での心構え、社会常識、もし何かあった時の問題解決能力など、在校中に身につけられるような取り組みを強化していきましょう。(委員 B)

・進路実績、素晴らしいと思います。日々の取り組みの成果だと思います。(委員 C)

・みなさんの希望に合ったところへ就職できているようで良かったと思います。今後、長く働けるように頑張ってほしいと思います。(委員 D)

・ご家族、本人の希望であれば致し方ないですが、例年と大きく変わることはなかった件については、それでいいのか?の追求はしてほしい。受入れる企業の立場として寂しいと思いました。(委員 E)

・多くの生徒が希望した進路先に決定してよかったです。希望した就職先に日々の努力、頑張り、誠実さが伝わって内定がもらえた実績は本校の早期からのキャリア教育の成果だと感じます。(委員 F)

4. 「令和3年度 学校教育自己診断について」(配付資料⑤)

※「令和3年度 学校教育自己診断について」のポイント

・児童生徒の結果 ・保護者の結果 ・教職員の結果・いじめの分析について

→概ね肯定的な評価を得ている。肯定的評価とは言えない回答に関しては、評価が低かった背景が分析できるものであるため、次年度は設問を工夫するなどして対応する。

※「令和3年度 学校教育自己診断について」に対するご意見

・結果分析から課題にあがっている内容については、協議等を進められて迅速かつ良い方向に改善されることをお願いします。(委員 A)

・意見の通りで、概ね肯定的な意見であると思いました。肯定的ではない評価については記載があるとおりに分析すること、設問を工夫され、対象者が答えやすいような内容にするとともに、肯定的な意見に転

換するような取り組みも合わせて検討され、よりよい学校になることを期待しております。(委員 B)

・肯定的な結果が低くても、どの項目も否定的な結果も低いのは良かったと思います。みなさんのご意見を参考に学校運営の見直しに役立てれば良いと思います。(委員 D)

・主観的な見方と認識します。さらに設問に工夫をされて運営の参考にして下さい。(委員 E)

・児童・生徒、保護者、教職員のほとんどが肯定的評価ですが、保護者アンケートの「いじめについて」の否定的評価「1%」については調査をしていただきたいです。日常の出欠連絡、資料配布で「hug ノート」アプリの活用をしていただきたいです。(委員 F)

5. その他

※学校運営全般及び学校運営協議会について（お気づきの点についてご記入ください）

・校長先生、教頭先生をはじめ企画運営にご尽力をいただいた委員のみなさまには心より感謝しております。座長が力不足のため進行等に多々ご迷惑をおかけしたと反省しております。

学校運営協議会が少しでも学校運営に寄与でき、吹田支援学校のさらなる活性化につながることを願っています。2年間楽しく参加させていただきました。ありがとうございました。(委員 A)

・特にございません。先生方、業務で多忙な中ご準備くださって有難うございます。

学校見学で生徒さんの様子や、先生方の授業を拝見することで、より連携のイメージが取りやすく、私としても助かっております。今後とも宜しく願います。(委員 B)

・特にありません。来年度もよろしく願います。(委員 C)

・教職員のみなさんの前向きに取り組む姿勢が、とても感じられます。職員数が多いとなかなか周知することや思いが一つにならないことがあると思いますが、常に進歩して行ってほしいと思います。(委員 D)

・コロナ禍で現場は苦勞されていると察します。コロナ感染の疑いが発生、又濃厚接触の疑い等、病院検査も連絡がなかなか追いつかずが現実です。その様な中での R4 年の運営ですが、頑張ってください。ご近所ながら応援しています。(委員 E)

・学校運営協議会に参加させていただき、意見交換をすることで学校のことを詳しく知ることができましたありがとうございました。(委員 F)

以上